



## 2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 アライドアーキテクト株式会社  
 コード番号 6081 URL <https://www.aainc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中村 壮秀  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 大野 聡子

TEL 03-6408-2791

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	4,535	55.2	575	337.1	647	667.0	577	345.4
2020年12月期第3四半期	2,922	4.0	131		84		129	

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 535百万円 (232.3%) 2020年12月期第3四半期 161百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年12月期第3四半期	40.96	40.64
2020年12月期第3四半期	9.24	9.23

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	3,599	2,338	63.6
2020年12月期	3,199	1,775	54.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 2,287百万円 2020年12月期 1,734百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年12月期		0.00		0.00	0.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年12月期の配当予想額は未定であります。

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当 期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	5,500	31.2	600	100.9	670	189.4	550	217.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	14,137,374 株	2020年12月期	14,091,900 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	23,593 株	2020年12月期	23,544 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	14,091,934 株	2020年12月期3Q	14,022,221 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. (1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

なお、新型コロナウイルスによる当社業績への影響につきましては、当第3四半期連結累計期間においては特段の悪影響はございません。提出日現在、国内においては新型コロナウイルスの感染拡大が一段落し、様々な制約が解かれ、経済活動は本格的に再開し始めました。しかしながら、再度の感染拡大が懸念されるなど、コロナ情勢は依然として不透明であり、収束時期の見通しは立たない状況が続いております。当社グループではこのような状況が当連結会計年度末にまで継続すると仮定しております。